

広報あつぎ1384号(10月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q あなたの年代を選択してください。

10代	0人
20代	2人
30代	12人
40代	15人
50代	23人
60代	11人
70代以上	17人
	80人

広報あつぎ1384号(10月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 紙面で紹介した行政情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面 おいしくいただきます

- おいしそうなので。
- 笑顔が印象的でした。
- 写真がすてきでした。
- 給食が懐かしく感じたから。
- 子どもの頃のおいしかった給食を思い出した。
- 給食を持った子どもたちの笑顔がとても良かったから。
- 子どもたちが安全で安心な食材で給食が食べられることは大事だと思う。
- 人生初めての給食がミートソーススパゲティであったことを思い出しました。
- 食事は体を作る源なので、地場産の物を摂取するのはとても良いことだと思いました。
- 給食は懐かしいです。しっかりバランス良く栄養を取って、楽しく皆で食べてほしいです。
- すべての子どもがおいしい給食を食べられますように。子どもたちの笑顔が毎日見られますように。
- 新しい給食センターができて、実際に厚木市ではどのような給食を食べているのかが分かって良かったです。
- 給食はみんなで同じものを温かく食べられるため、とても有り難いです。写真の子どもたちの笑顔から、給食がおいしいのだと感じました。
- 1面の写真を見て、妻が小学校の給食寂しくない？と言っていました。栄養士さんがいるので問題ないと思いますが、少し少ないと思いました。
- 給食は最大の子育て支援と言っても過言ではないので、この紙面を選びました。地産地消の給食を通して、安心安全な素材本来の味を子どもたちに伝えていけたら良いと思います。
- 私が中学生の頃は、学校が遠かったため、お弁当が歩く振動で偏り、おかずの味が混じってしまったり、冬は冷えて固くなるなど、あまりおいしかった記憶はないが、今の子どもたちは暖かい給食で幸せだと思う。
- 今月は文句なしで一面が印象的です。小学生二人の笑顔が最高でした。席に付いている児童はもう食べ始めているのに、撮影のためお預けになっていてもこの笑顔。撮影が終わったらお腹いっぱい食べてね、と思わず声を掛けたくくなりました。
- 私の時代とは違い、すてきな食器で楽しい給食生活を送ることができそうだと、羨ましく思いました。子どもものいきいきとした表情からも伝わってきました。伊勢原市とは違い、中学校の完全給食もすごく羨ましい点で、共働き世帯にはうれしいと思いました。

2面 戸別収集のモデル地区拡大

- 身近な問題だから。
- 戸別収集に興味関心を持っているから。
- 自分の住む地域が対象になるか気になったため。
- 住んでいる地区がモデル地区に該当していたため。
- 戸別収集によって、ごみの量が減ったという点に興味を持った。
- 今後の対象地域など、どのように展開していくのか気になった。

- 戸別収集で、個人が責任を持ってごみを捨てるようにすれば、いい加減な捨て方ができなくなると思います。
- 全国的に戸別収集が始まっているので、興味を持ったのと同時に、地方では回収の作業員に高齢の方が多いため、回収員の負担が懸念されます。
- ごみ集積所まで捨てるに行くことが大変そうな人をよく見掛けます。これから更に高齢者が増えていくと思うので、戸別収集はとても良いと思いました。
- 自分の地区は対象地区ではなかったので、この記事を読んで、戸別収集が実施されていることを初めて知りました。負担軽減だけでなく、家庭ごみについても考える良い機会になると感じました。
- 戸別収集は、高齢者や働き盛りの方にも有り難いことだと思います。ただ、収集する職員の負担や、収集車が通りやすい道づくり等、さらに良くなるような仕組みが確立していけば良いと思います。
- ごみ集積所の管理、自分のごみに対する責任、地域のごみ出しルールを守る等、一人一人の行動がごみの減量や環境問題に大いに役立つと思います。是非、戸別収集を地域全体で行ってほしいと思います。
- 戸別収集によってごみの量が減ったというが、各家庭から出るごみの量は減らないのではないかと思う。なぜ減ったのかという検証が必要だと思う。また、戸別回収では、回収者の負担が増え、人件費等のコストが増えるのではないかとも思う。
- 今回から戸別収集のモデル地区になり、昨日、早速家の前にごみを置きました。この紙面を読んで、なぜ戸別収集を実施するのか、理由がよく分かったので協力していきたいですし、自分のごみの出し方により一層の責任を感じることができています。
- 戸別収集は、ごみを出す方にとっては、高齢者など集積所まで持って行くことが大変な人がいるのでうれしいが、回収者の負担や費用は増えるのではないかと思う。また、太陽光パネルなど、電子製品や大型のごみもいろいろあるため、作る方も使用後のことを考えて生産してほしいし、販売時に処分に掛かる費用を徴収してしまうことも必要なのかと思う。
- 今朝、ちょうど職場の雑談でもえるごみの戸別収集の話題があり、厚木市はまだなのかと思っていましたが、厚木市でもモデル地区で実施していたのだと知りました。ごみに自分の名前を書いて出すようなもので、責任を持たなければならないと思います。間違った物を入れてしまったり不安ですが、ごみ袋が高い指定品にならないならまだ受け入れやすいと思いました。

2面 事業者の食品廃棄物を収集し資源化

- リサイクルに興味があるため。

2面 リサイクル施設見学会

- リサイクル施設の見学をすることで、ごみ出しに対する意識が変わると思う。

3面 住民票の写しなどを自宅で取得

- 自宅で手続きができることは、本当に便利になるので助かります。
- 今まで、市役所に行って待たされることが嫌だったので、住民票の写しを自宅で取得できるのはすごく便利。
- デジタル化が進み、自宅で住民票などを受け取ることができるのは、大変便利になったとつくづく感じた。しかし、手元に来るまでに1週間も掛かるのは、少し時間が掛かりすぎのような気がする。公民館などに取りに行けば、その場で発行してもらえるので。

3面 医療的ケアが必要な児童・生徒に訪問看護師を派遣

- 関心のある内容だった。

- 学校に訪問看護師が来ることで、対象のお子さんが安心して通学できるようになることを祈ります。
- 医療が必要な子どもも学校に通えるような体制を整えたら、障害を持った子どもも生活しやすいと思う。
- 希望する学校に通えない児童や生徒が一人でも減ってほしいです。学校関係者の理解も深めてほしいです。

3面 新型コロナワクチン接種のお知らせ

- 次回もワクチン接種をしたいから。
- 一番の関心ごとなので気になった。
- いまだにコロナウイルスが収束しないから。
- ワクチン接種の今後について知りたかったから。

4・5面 学校給食に込める思い

- 学校給食は食育からも大事だと思っています。
- 食の文化を作る学校給食の仕組みを知ることができた。
- 地元産の材料を使った給食で、子どもたちの成長に期待したい。
- 皆さんが一丸となって学校給食を支えていることが伝わりました。
- 給食を実際に作る方だけでなく、卸している方の話は興味深かった。
- 誰でも平等に食べられる給食はすばらしいと大人になってから感じる。
- 給食センターを是非見学したいです。見学体験できる日を知りたいです。
- こんなにすばらしい施設があることに驚いた。是非、ここの食事をいただきたいと感じた。
- 北部学校給食センターの2階展示ホールの体験コーナーは楽しく学べて良いと思いました。
- 給食が単なる学校での昼食ではなく、地域と深く結びついた給食であることがよく分かった。
- 食材の生産・調理・献立づくりなど、給食を支える人たちの思いがよく伝わり、頭が下がる思いです。
- 学校給食への懐かしさから関心を持ちました。また、子どもが近い将来食べるであろう給食について考えるきっかけになりました。
- 厚木市の小学校での学校給食は30年以上たった今も良い思い出です。一生の思い出になる給食を作っている方々の思いにも感謝です。
- 学校給食の歴史を知ることができました。給食時の子どもたちの笑顔がすてきです。農家の方や栄養士の方の日々の苦労や仕事内容がよく分かる記事になっています。
- 沢山の人が関わり、安心・安全な食べ物を提供していることがよく分かりました。各学校のホームページ上で掲載されている給食の献立をいつも見えています。少し量が少ない、惣菜の種類が少ないのが気がかりです。
- 率直に、学校給食は昔よりも一層、携わる様々な方の思いが込められた給食なのだと感じた。そして、それを食せる子どもたちが羨ましいなと感じた。私の時代は、中学校はお弁当持参で給食ではなかったの、併せて羨ましく思った。
- 食育はとても大切。人の身体はそれまで食べた3ヶ月間の食べ物でできています。街にあふれる食べ物や宣伝されている食べ物に影響されすぎると様々な病気の原因になると思われます。医療は進んでも病気を治すことに重きをおき、なぜ病気になったのかを指導してくれる医療は少ないと思います。みんなで気を付けていきましょう。

7面 タウンガイド

- 新しい情報を知ることができました。

8面 #鮎まつり楽しみ

- 全部興味をもって読みました。
- 8月からの延期で花火大会が楽しみ。
- やっと鮎まつりが開催できるとあって、うれしい。
- 3年振りに開催されることが楽しみで仕方ないです。
- 厚木市に住んで47年。何と言っても楽しみの一つは相模川の花火です。
- 待ちに待った鮎まつりが待ち遠しいです。来年は平常どおり8月に開催できますように。
- 夏だと、昼が長くて花火が始まる時はまだ明るくて見づらい気がしていたので、今回は楽しみです。
- 旧来通りの8月開催はできませんでしたが、中止ではなく延期して開催いただけることはとても有り難く思います。
- 延期になっていた鮎まつりがいよいよ開催されるのはうれしいです。感染対策をしながら出店も楽しみたいと思います。
- 鮎まつりは楽しみですが、そのために2回開催できるくらいの追加予算が必要なこと等も含めて広報紙に載せるべきだと思います。楽しみですが、そのために莫大な費用を計上していること、開催もしていないのに6千万もの税金を既に使ってしまったことは、市民にも知る権利があると思います。

8面 自然歳時記

- 毎号、自然歳時記を楽しみにしているため。
- 毎回このコーナーは興味があります。以前にも、ご担当の方の特集があった気がしますが、またあったら良いなと思いました。

興味を持てる記事がなかった

3人

広報あつぎ1384号(10月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 今回の「広報あつぎ」について、意見・感想、その他、取り上げてほしい内容があればお聴せください。

- 役立つ情報が多かった。
- コロナウイルス関係の情報が弱いと思う。
- 今回は全体的に色とりどりで読むのが楽しかったです。
- 紙面へのあゆこちゃん掲載がかなり減っている気がします。
- 毎回、1日号はたくさんの紹介が掲載されていて見応えがあります。
- いつも読みやすい記事で、QRコードを入れている部分が多いことも非常に良い取組だと思いました。
- 学校給食や戸別収集、オミクロン株対応ワクチンなど、新しい情報が盛りだくさんだったように感じた。
- 今月号は、コロナ禍でようやく催しが開催できるようになったためか、紙面に多くの関連情報があり、最近なかったにぎやかな紙面だと感じた。
- 広報紙を通じて、市民として何かしらの気づきが得られることが多いです。例えば、今回は給食をテーマにした記事から、子どもと学校教育、食育について考えるきっかけになりました。
- なかなか収束しないコロナ禍ですが、イベントが戻りつつあることに少し安心しています。市内の情報を隈なく網羅するのは大変だと思いますが、今回の給食の歩みなどは良い企画だと思います。
- 今回はどれも読み応えがありました。給食の地産地消の取組などを特集してもおもしろいと思います。あとは、黙食の撤廃を願います。食べることが苦痛の時間になり、子どもたちの喜びがこれ以上奪われないことを願っています。子どもは全て大人からの指示を受けるので、自分で考えられる子が増えることも願っています。
- 広報紙の表紙写真がとてもすてきです。
- 表紙の子どもたちの笑顔に癒されました。給食もおおいそうです。
- 学校給食の様子を見ることはなかなかないが、器がずいぶん良くなったと思う。
- 今号は全体的に食べ物に残さずおいしくいただくとう強く思わせてくれる内容だった。
- 給食へのこだわりが伝わった。他の自治体では質素すぎる給食が問題になっていたりするが、厚木市は安心だ。
- 今回も楽しく読ませていただきました。表紙の小学生の笑顔も、ほのぼのした雰囲気の良い写真だと思いました。
- 子どもの成長にバランスの良い食事は必要だと思う。貧困対策や家庭の負担軽減のためにも給食はとても重要であり、おいしいバランスの良い給食を届けられる施設ができて良かった。知り合いに興味で野菜を作っている人がいるが、自分だけでは食べきれない場合もあるので、そのような野菜を給食などで使えないだろうか。
- ごみの戸別収集に興味がある。
- 戸別収集の目的がよく分かりました。
- なぜ、ごみを戸別収集にすることで減量できるのか不思議。
- 戸別収集の試用はとても画期的だと感じました。是非、途中経過の報告も読みたいです。
- 一部の無責任にごみを捨てる人によって、ごみ集積所が無惨になっているので、戸別収集はとても良い試みだと思う。
- 戸別収集にしたらごみの量が減ったことが理解できません。減った分は不法投棄されたのか、または溜め込んでいるのでしょうか。

- デジタル技術を使った行政手続の向上は、どんどん進めてほしい。
- 「住民票の写しなどを自宅で取得」の記事を見て、取得可能な人はネットが使える人に限られると思うので、これほど詳細に案内する必要はないかと思います。
- 地場野菜を給食に取り入れることはお互いにとっても良いことだと思います。新しい北部給食センターの調理の様子を上から見学できるようなので、是非その方法も知りたいと思いました。
- 「戸別収集のモデル地区拡大」は、大変すばらしい検証だと思います。ごみ集積所はいつも乱雑で、箱に入らず横に置いている人も時々見掛けます。カラスの餌になり散らかっていることもあるので、地域の拡大を早急にできればうれしいです。
- ワクチンの副反応が気になる。
- ワクチン5回目接種の情報が知りたい。
- 一般の4回目のワクチン接種時期が気になります。
- SDGsは、できることを取り組んでいきたいです。
- 最近では空き地も少なくなり、バッタを見る機会も減ってしまったので、記事を見て懐かしく思いました。
- 子どもが幼稚園の頃はバッタが好きで、休みの日はいつもバッタ採りに行っていた。最初は下手だった子どももだんだん上手くなり、かごいっぱい捕まえて、家に着いたら近くの草原に離していた。50年前の懐かしい思い出である。
- 「あつぎ元気wave」でバッタを釣る動画を見るまではバッタに興味はなかったのですが、郷土資料館の展示や講習会に行きたくなりました。自転車で行ける距離ではないので、行くのは難しいですが、昆虫食の話等を聞きたかったです。
- 10月16日開催予定の「ミニ消防フェア」が楽しみです。市内のイベントは、まず広報紙を確認しています。
- あつぎ青空アート展を楽しみにしています。
- 鮎まつりを楽しみにしています。
- 鮎まつりの予告は良かったです。
- 鮎まつりが無事に開催できると良いですね。
- 来月に迫った鮎まつりの記事が良かったです。
- 鮎まつりは本当に楽しみです。特に花火大会は見たいと思います。
- 鮎まつりの大花火大会がインターネットで生配信されるのは楽しみです。
- まだコロナウイルスの感染者が市内でも多くいるので、鮎まつりがどうなるのか心配。
- 延期になっていた鮎まつりが3年ぶりに開催されることを家族で楽しみにしています。
- 鮎まつりが楽しみです。伊勢原の道灌まつりは開催されたので、鮎まつりも是非開催してほしいと思っています。
- 鮎まつりが無事に実施できるのかまだ少し不安はあるが、楽しみにしている方のワクワクした気持ちは微笑ましく感じた。
- 来月、鮎まつりが開催されることがとてもうれしいです。厚木伊勢原ケーブルテレビで花火師さんの熱い思いを見たので、実現されることが良かったと思います。
- 厚木市を代表する鮎まつりのようなイベントは大切してほしいです。また、市外の人にもワクワクするイベントが生まれると良いなと思いました。厚木マルシェのようなものが毎月開催されていると行きたくなるかなと思いました。
- 高齢者と若者の交流の場について紹介してほしい。

- 健康に関する情報が知りたい。
- 新庁舎の関連情報が知りたい。
- イベント情報を取り上げてほしい。
- 地域のできごとを取り上げてほしい。
- 市の施設の活用方法を紹介してほしい。
- 厚木市のお花見スポット特集を見たい。
- 起業している若者に焦点を当ててほしい。
- コロナウイルス感染者数及び症状などを詳しく知りたい。
- 引き続きコロナウイルス関連の記事を載せてほしいです。
- 各地区の自治会活動について順次取り上げてほしいです。
- 神社や地区ごとのお祭り、イベント情報も知りたいです。
- 市内企業や商店の紹介が見たいです。広告でも良いですね。
- ハイキングコースや癒される場所をたくさん知りたいです。
- 他市区町村を取り上げ、厚木市と比べるような記事が見たい。
- 季節柄、秋や冬の楽しみ方を紹介していただけると有り難いです。
- 各課で行っている内容を職員目線で紹介するような記事も楽しいと思います。
- 去年は男女共同参画の記事でしたが、広報課独自の企画を楽しみにしています。期待しています。
- 報道機関では取り上げないが、地域の縁の下の力持ちのような人に焦点を当てる記事を期待しています。
- 厚木市の再開発について特集していただけるとうれしいです。どのように建物ができるのか興味があります。
- 盛りだくさんの話題ではなく、1品重点主義で詳しい情報の提供をお願いしたい。今問題となっているのは災害である。厚木市内には中小河川が多く、河床が高い河川がいくつもある。ハザードマップでも分かるが、時期を見て、改めてどんな手順で避難するか、高齢化社会に向けて簡単に分かりやすい解説がほしい。
- 厚木市の困りごともしっかり載せることで、職員や市長の市民への思いが伝わると思います。良いことだけ広報紙で取り上げていますが、誠実さが感じられません。ごみ集積所なども地域住民のさまざまな思いの上に実現し、市民は恩恵を受けるのですから、辛い思いをしている人のことも伝えて、感謝の気持ちを促すような心ある内容を求めます。
- 厚木市は子育て世代や働く世代に対する援助も充実していて、生活の質が高い街だと思います。今後にぎわいが戻り、商業施設が再び充実していくことを期待します。

広報あつぎ1384号(10月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 視聴した「あつぎ元気Wave」について、感想、意見をお聴かせください。

あつぎ元気Wave10月第1回(10月1日から10月15日まで)

- 参考になりました。
- とても楽しく拝見しています。
- 偏りなく、様々な観点のコーナーがあって良かったと思います。
- 今回も市内の様々な情報を詳しく取り上げてくださっていたので、興味深く視聴しました。
- 演出に地方感が出ていて、全く魅力的に思わないので、開始5秒で見たいと思わなくなる。
- バッタで秋を感じました。
- バッタの釣竿を作ってみたいと思いました。
- バッタを釣ることができるとは知らなかった。
- バッタの詳しい解説がおもしろかった。娘と公園でバッタ探しをしたい。
- バッタを捕まえる方法を見て、棒に色を塗って捕まえられることに驚きました。
- 子どもの頃、草原へバッタを捕まえに行ったことを思い出し、またやってみたくなった。
- 広報紙にも記載がありましたが、バッタの話は童心に帰って熱心に見させていただきました。
- 新聞の神奈川版にも、ピンク色のバッタの仲間が捕まえられたという記事があったので驚いた。
- 郷土博物館は歴史だけだと思っていたので、バッタのことや、学芸員さんがいることに驚きました。
- 郷土資料館は我が家から近いのですが、なかなか行く機会がないので、足を運んでみたいと思います。
- 厚木市にもまだまだバッタが住める環境があり良かったと思うのと同時に、この自然がこれからも残っていけば良いと思いました。
- バッタを釣るという不思議なことを道具作りから、実演まで見ることができ楽しかったです。もう少し若かったら、やってみたかもしれません。説明も分かりやすく、原理も理解できて良い特集だと思いました。
- バッタのオスは、メスと全く違う緑の角材をメスだと思って喜んで乗っかり、付いていた糸で釣られてしまうことに驚きました。また、標本のバッタは茶色い地味な色しか見たことがなかったので、古来からのバッタは茶色いものなんだと思っていたのですが、きれいな緑色は標本にできなかったのですね。
- バッタの展示は、虫が好きな友人を誘おうと思います。また、給食センターは、学校行事などで見学があると子どもたちが楽しく見ると思いました。
- バッタ釣りを初めて知りました。バッタ釣りもおもしろそうだなと思いました。また、給食センターを体験したので、体験方法を教えてほしかったです。
- 子どもの頃が懐かしく思い出されるので、10月8日からのバッタの展示を楽しみにしています。また、新北部学校給食センターが衛生的で合理的な施設になっているように感じました。
- バッタは捕まえるものだと思っていたので、釣るという表現がとても新鮮でした。説明の方の生き生きとした様子も楽しく拝聴し、こちらも楽しくなりました。また、給食センターの大鍋は絵本の「ぐりとぐら」を彷彿させるようでおもしろかったです。
- 厚木郷土博物館の学芸員の方の専門性は、とてもすごいと思います。今回の企画は、バッタが専門の梶先生の講座に是非多くの方が参加されること祈りながら拝見していました。また、新しくなった給食センターも機会があれば見学させていただきたいと思いました。的確な情報ありがとうございます。
- 虫が苦手なので、バッタを見るのは辛かったです。鮎まつりは楽しみです。

- 新しい給食センターが魅力的。
- 給食関連の話を見ました。行ってみたい。
- 給食センターの紹介は興味深く視聴しました。
- きれいな給食センターは、とても安心できて嬉しいです。
- 新たな学校給食センターの紹介は、内容が分かりやすかった。
- 新しい給食センターができ、より良い給食の提供を期待しています。
- 栄養面を考えたおいしく温かい給食を食べられる子どもたちは幸せだと思います。
- 立派な給食センターが完成したのは良かったと思う。また、子どもたちの食育につながると思う。
- 新北部学校給食センターの話はとても分かりやすく理解できました。最新の設備と衛生面、調理方法が良かったです。
- 新しい学校給食センターについて、文字だけではなく、映像で実際の施設を見ることができたので、理解が深まりました。
- 新しい学校給食センターでは、新しい設備で成長期の子どもたちに地元産の食材を沢山使い、健康を助けていただきたい。
- 新しくなった学校給食センターを見て、とてもきれいな場所でおいしい給食を作っていることが分かり、羨ましいと思いました。
- 新しい学校給食センターは、食中毒を出さない、出ない取組が十分なされていると感じました。おいしい給食の提供を今後も続けてください。
- あたたかい昼食が食べられるのは、我々の年代からすると羨ましいため、感謝して食べてほしい。また、給食センターの見学を生徒にはさせた方が良くと思う。
- 北部学校給食センターの中の様子が見られておもしろかった。自分は健康管理のため、食べ物の栄養には多少気を使っているが、子どもたちはよく分かっていないと思う。お菓子やジュースなどの食べ飲み過ぎは良くないし、必要な栄養が取れない。何回にもわたって、楽しく学べる食育が必要だと思う。このセンターで、食について生産から学び、嫌いな野菜も食べた方が良くすることを学んでほしい。

あつぎ元気Wave9月第2回(9月15日から9月30日まで)

- 職員の仕事ぶり紹介は、この動画だけでなく、もっと市職員と市民とのフレンドリーな交流があれば良いと思います。
- いつも見ている勉強になります。鮎まつりも楽しみです。
- 鮎まつりの特集を視聴し、うきうきした気持ちになりました。
- あつぎ鮎まつりが開催されるニュースを聞いて、とてもうれしく思いました。